

令和9年度

広島県公立高等学校入学者選抜実施内容シート

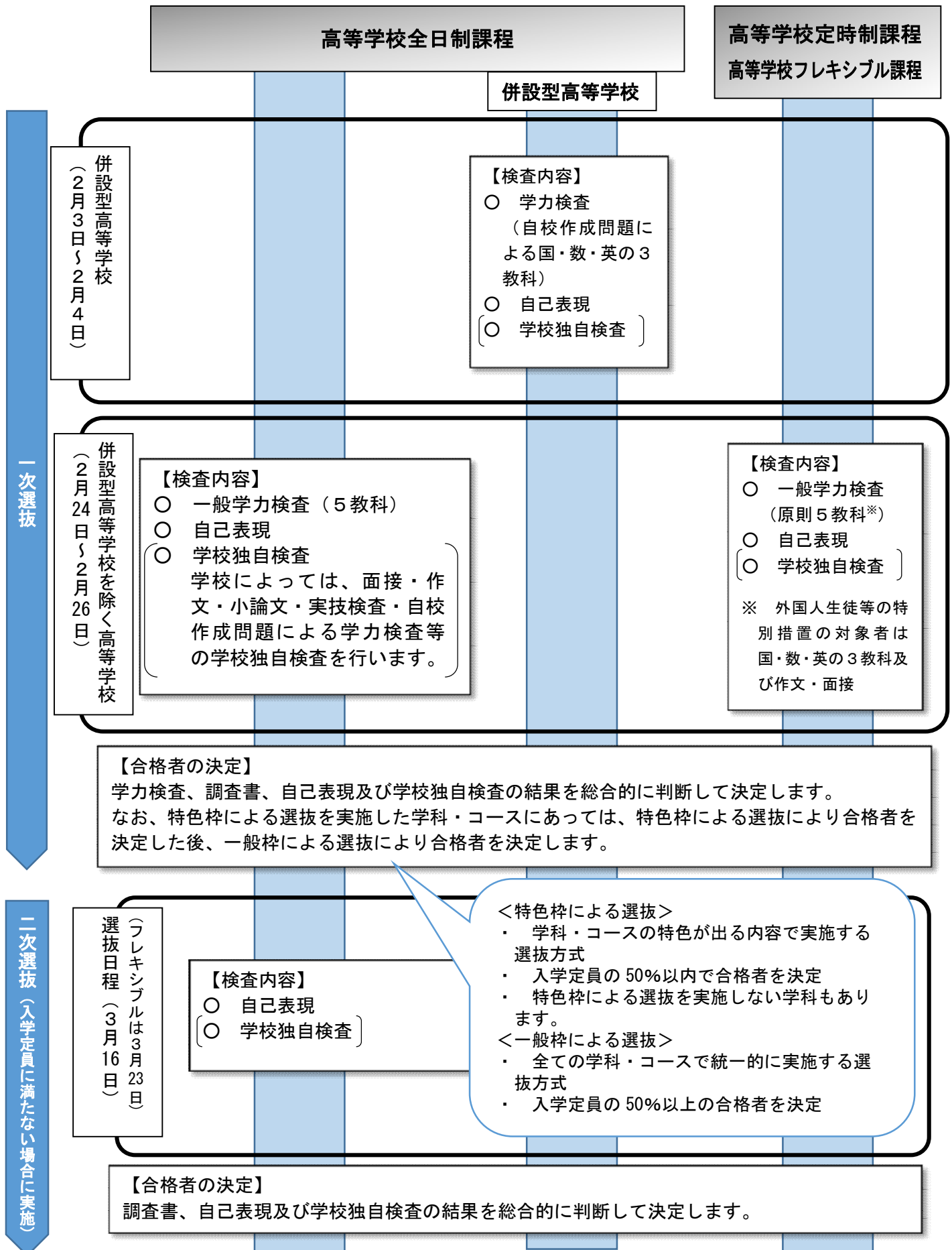
令和8年8月17日

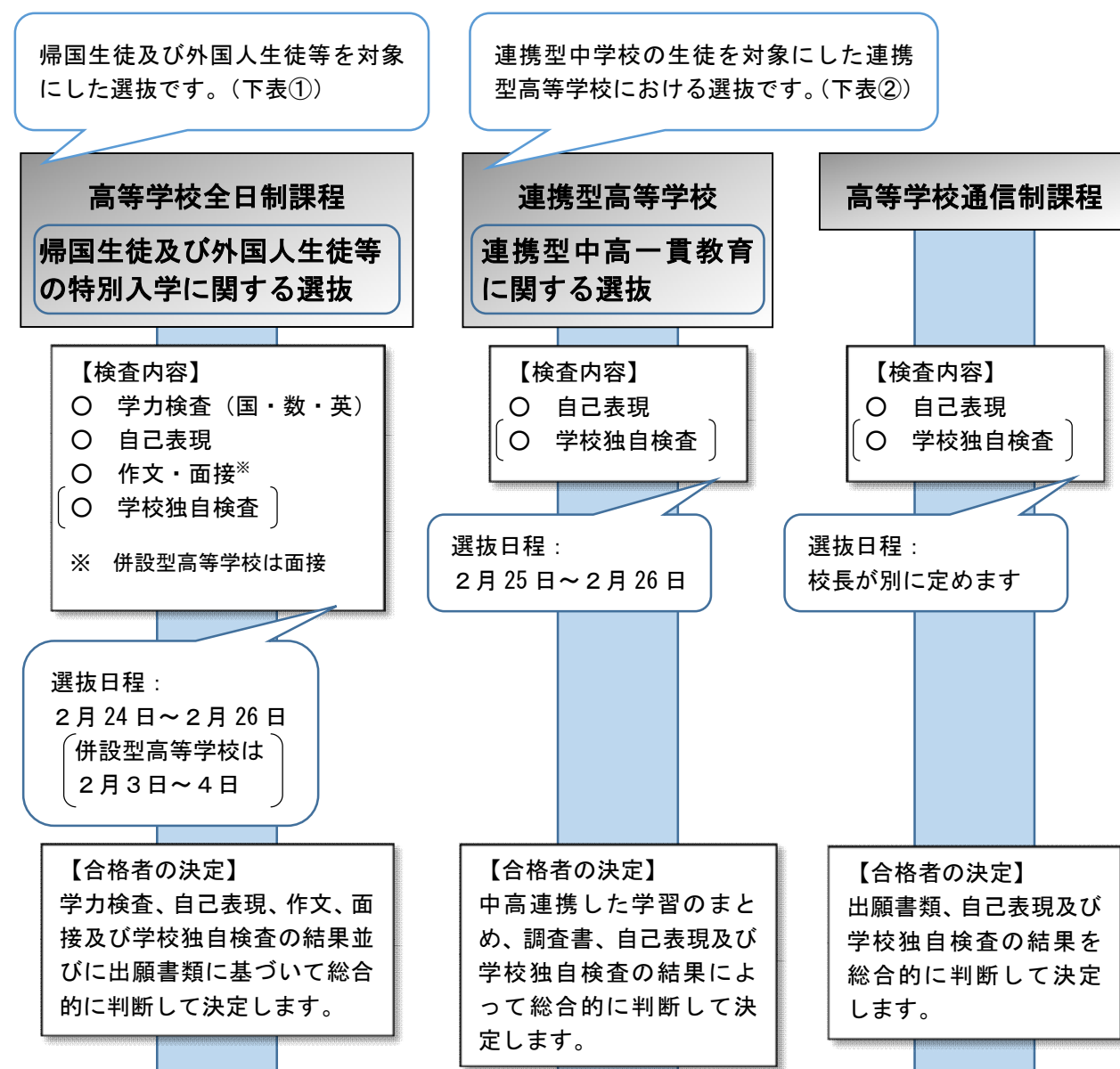
広島県	教育委員会
広島市	教育委員会
呉市	教育委員会
尾道市	教育委員会
福山市	教育委員会

目次

地区	高等学校名	ページ	地区	高等学校名	ページ	地区	高等学校名	ページ
【全日制課程(本校)】			【定時制課程】			【通信制課程】		
		一次 二次			一次 二次			一次 二次
中区	広島国泰寺	1 114	府中市	府中	72 185	安佐北区	可部	239 255
	広島市立基町	3 116		上下	73 186	呉市	呉工業	240 256
	広島市立舟入	5 118		府中東	74 187	三原市	三原	242 258
	広島商業	7 120	三次市	日彰館	77 190	尾道市	広島県尾道南	243 259
東区	広島市立広島商業	8 121		三次青陵	78 191		因島	244 260
南区	広島皆実	9 122	庄原市	庄原格致	79 192	福山市	福山誠之館	245 261
	広島工業	12 125		東城	81 194		福山葦陽	246 262
	広島市立広島工業	17 130		西城紫水	82 195		松永	247 263
西区	広島井口	18 131		庄原実業	83 196		芦品まなび学園	248 264
	広島観音	19 132	大竹市	大竹	84 197		福山工業	249 265
安佐南区	安古市	20 133	東広島市	賀茂	85 198	三次市	三次	251 267
	安西	21 134		賀茂北	86 199	東広島市	賀茂	252 268
	祇園北	22 135		黒瀬	87 200	廿日市市	廿日市	253 269
	広島市立沼田	24 137		河内	89 202		宮島工業	254 270
安佐北区	可部	26 139		豊田	90 203	【フレキシブル課程】		
	高陽	27 140		西条農業	91 204			一次 二次
	高陽東	28 141	廿日市市	廿日市	92 205	中区	広島市立広島みらい創生	272 274
安芸区	安芸南	29 142		佐伯	93 206	【実施内容一覧表】		
佐伯区	五日市	30 143		廿日市西	94 207	表の見方		276
	湯来南	31 144		宮島工業	95 208	実施内容一覧表		278
	広島市立美鈴が丘	32 145	安芸高田市	吉田	96 209	＜様式について＞		
呉市	広	33 146		向原	98 211	○様式第1号の1		
	呉宮原	34 147	江田島市	大柿	99 212	一次選抜		
	呉三津田	35 148	府中町	安芸府中	100 213	○様式第1号の2		
	音戸	36 149	海田町	海田	102 215	二次選抜		
	呉工業	37 150	熊野町	熊野	104 217	○様式第2号の1		
	呉商業	39 152	安芸太田町	加計	105 218	一次選抜(連携型高等学校)		
	呉市立呉	40 153	北広島町	千代田	106 219	○様式第2号の2		
竹原市	竹原	41 154	大崎上島町	大崎海星	107 220	二次選抜(連携型高等学校)		
	忠海	43 156	世羅町	世羅	108 221	○様式第2号の3		
三原市	三原	44 157	神石高原町	油木	111 224	連携型選抜※		
	三原東	45 158	【全日制課程(分校)】			○様式第3号の1		
	総合技術	46 159			一次 二次	一次選抜(併設型高等学校)		
尾道市	尾道東	47 160	北広島町	加計・芸北	113 226	○様式第3号の2		
	御調	49 162	【全日制課程(併設型高等学校)】			二次選抜(併設型高等学校)		
	瀬戸田	50 163			一次 二次	○様式第4号		
	尾道商業	51 164	福山市	福山市立福山	227 230	通信制の課程の選抜		
	尾道北	52 165	三次市	三次	228 231	※連携型選抜とは、連携型中高一貫教育に関する選抜のことです。		
	因島	53 166	東広島市	広島	229 232			
福山市	福山葦陽	54 167	【全日制課程(連携型選抜※)】					
	沼南	55 168	安芸太田町	加計	233			
	大門	57 170	尾道市	御調	234			
	福山明王台	59 172	東広島市	賀茂北	235			
	神辺旭	60 173	神石高原町	油木	236			
	福山工業	62 175	北広島町	加計・芸北	238			
	福山商業	67 180						
	福山誠之館	68 181						
	松永	69 182						
	神辺	70 183						
	戸手	71 184						

令和9年度入学者選抜の概要





選抜	①帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜	②連携型中高一貫教育に関する選抜												
定員	入学定員外で各高等学校2人以内	入学定員の範囲内で、高等学校長が定めます												
出願資格	＜帰国生徒＞ 日本国籍等で高等学校入学資格を有し、次のaからdまでのいずれかに該当する者 a 海外在住期間が2年以上3年未満で、帰国後の期間が1年以内の者 b 海外在住期間が3年以上4年未満で、帰国後の期間が2年以内の者 c 海外在住期間が4年以上9年未満で、帰国後の期間が3年以内の者 d 海外在住期間が9年以上で、帰国後の期間が6年以内の者 ＜外国人生徒＞ 外国籍を有する者で、中学校卒業又は卒業見込み、かつ、原則として、入国後の在日期間が6年以内の者	連携型中学校を令和9年3月に卒業する見込みの者で、次の条件を満たす者 (7) 当該学校を志望する動機・理由が明白かつ適切であること (イ) 当該学校に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有すること <table><tr><td>連携型高等学校名</td><td>連携型中学校名</td></tr><tr><td>県立加計高等学校</td><td>安芸太田町立加計中学校 安芸太田町立安芸太田中学校</td></tr><tr><td>県立加計高等学校芸北分校</td><td>北広島町立芸北中学校</td></tr><tr><td>県立御調高等学校</td><td>尾道市立御調中学校</td></tr><tr><td>県立油木高等学校</td><td>神石高原町立神石高原中学校 神石高原町立三和中学校</td></tr><tr><td>県立賀茂北高等学校</td><td>東広島市立豊栄中学校</td></tr></table>	連携型高等学校名	連携型中学校名	県立加計高等学校	安芸太田町立加計中学校 安芸太田町立安芸太田中学校	県立加計高等学校芸北分校	北広島町立芸北中学校	県立御調高等学校	尾道市立御調中学校	県立油木高等学校	神石高原町立神石高原中学校 神石高原町立三和中学校	県立賀茂北高等学校	東広島市立豊栄中学校
連携型高等学校名	連携型中学校名													
県立加計高等学校	安芸太田町立加計中学校 安芸太田町立安芸太田中学校													
県立加計高等学校芸北分校	北広島町立芸北中学校													
県立御調高等学校	尾道市立御調中学校													
県立油木高等学校	神石高原町立神石高原中学校 神石高原町立三和中学校													
県立賀茂北高等学校	東広島市立豊栄中学校													

入学者選抜実施内容シートの見方

<例>

一次選抜

1

●●●高等学校 ●●●課程 ●●●学科 [] コース

2

教育目標	
育てたい生徒像	
入学者受入方針	

3

項 目	内 容
入学定員	一 人

4

枠	① 特色枠	② 一般枠
割合（人数）	20%（一 人）	80%（一 人）

5

配点の比重	一般学力検査：調査書：自己表現：学校独自検査 ＝ 4：4：2：2 （ 400：400：200：200 ）	一般学力検査：調査書：自己表現：学校独自検査 ＝ 6：2：2：1 （ 600：200：200：100 ）
-------	--	--

6

一般学力検査												
実施内容	一般学力検査 ☒ 国語 ☒ 社会 ☒ 数学 ☒ 理科 ☒ 英語 一般学力検査に替えて自校作成問題により実施する学力検査 ☐ 国語 ☐ 社会 ☐ 数学 ☐ 理科 ☐ 英語											
	450 点 → 400 点に換算						250 点 → 600 点に換算					
	☐ 標準 ☒ 傾斜配点・活用教科の設定あり						☒ 標準 ☐ 傾斜配点の設定あり					
配点	国語	社会	数学	理科	英語	計	国語	社会	数学	理科	英語	計
	50	50	150	150	50	450	50	50	50	50	50	250

7

調査書																				
配点	325 点 → 400 点に換算									225 点 → 200 点に換算										
	□標準 ☒ 傾斜配点・活用教科の設定あり									※ 標準のみ										
	国	社	数	理	音	美	図	英	外	計	国	社	数	理	音	美	図	英	外	計
	25	25	75	75	25	25	25	25	25	325	25	25	25	25	25	25	25	25	25	225

9

自己表現											
配点	30 点 → 200 点に換算					30 点 → 200 点に換算					

10

学校独自検査														
実施内容	・小論文〔60 分〕 ・一般学力検査に加えて、数学の自校作成問題による学力検査〔20 分〕													
	100 点 → 200 点に換算							50 点 → 100 点に換算						
配点	面接	作文	小論文	実技	学力	その他	計	面接	作文	小論文	実技	学力	その他	計
			50		50		100			50				50

11

特記事項											
学校独自提出書類	・入寮希望調査票 〔調査書に添付して提出すること。〕										
その他											

次の内容は「一次選抜」の入学者選抜実施内容シートの見方についてまとめたものです。
「二次選抜」、「連携型選抜」及び「通信制の課程の選抜」についても、この見方に準じます。

1 「高等学校名」「課程」「学科〔コース〕」

ここに記載されている「高等学校名」、「課程」及び「学科〔コース〕」は令和8年8月現在のものです。

2 「教育目標」「育てたい生徒像」「入学者受入方針」

- 「教育目標」とは、その高等学校や学科・コースで、どのような教育活動を行っていくのかを示したものです。
- 「育てたい生徒像」とは、その高等学校や学科・コースでの生活や教育活動を通じて、どのような生徒に育てたいのかを示したものです。
- 「入学者受入方針」とは、「教育目標」や「育てたい生徒像」を踏まえて、入学時に期待される生徒像を示したものです。

3 入学定員

入学できる人数を示したものです。一次選抜の定員は「入学定員」と同じです。

ただし、秋季入学のための選抜を実施する学校（広島市立広島みらい創生高等学校を除く。）にあっては、入学定員から秋季入学のための選抜の定員を除いた人数、連携型高等学校にあっては、入学定員から連携型中高一貫教育に関する選抜の合格者数を除いた人数、併設型高等学校にあっては、入学定員から併設型中学校からの入学予定者の数を除いた人数が一次選抜の定員となります。

現時点では未定であるため、「－」を記載しています。入学定員は、例年9月に公表しています。
なお、入学定員の決定に伴い、実施内容等の一部が変更となる場合があります。

4 「特色枠による選抜」「一般枠による選抜」及びその割合

- 「特色枠による選抜」を実施する学科・コースにあっては、「特色枠による選抜」により合格者を決定した後、「特色枠による選抜」で合格者とならなかった全ての受検者から、「一般枠による選抜」により合格者を決定します。
なお、「特色枠による選抜」と「一般枠による選抜」はどちらか一方を選んで出願するものではありません。
- 「割合(%)」の欄の数字は、入学定員に対する割合を示しています。
- 「特色枠による選抜」を実施しない学校又は学科については、「特色枠による選抜」の欄が全て空白になっています。

5 配点の比重

- 「特色枠による選抜」の学力検査、調査書、自己表現及び学校独自検査の配点の比重は、各高等学校において定めます。

この例では、学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重が4：4：2となっています。これは、学力検査、調査書及び自己表現の合計を10割として、学力検査と調査書の配点をそれぞれ4割、自己表現の配点を2割で計算し直すことを意味しています。

なお、学校独自検査をする高等学校では、その配点の比重も記載します。

また、()に記載されている数値は、学力検査、調査書及び自己表現の合計を1,000点満点とした配点です。この例では、学力検査、調査書、自己表現及び学校独自検査の配点をそれぞれ

れ、400 点、400 点、200 点、200 点に変換します。

- 「一般枠による選抜」の学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重は、全ての高等学校において、6：2：2となっています。

6 学力検査の実施内容

原則として、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科^{※1}の一般学力検査を実施します。一般学力検査に替えて自校作成問題により学力検査を実施する高等学校では、「一般学力検査に替えて自校作成問題により実施する学力検査」にチェック（☒）が入ります。

※1 併設型高等学校においては、国語、数学、英語の自校作成問題による学力検査を実施します。

7 学力検査の配点

一般学力検査の配点は、各教科 50 点満点です。^{※2}

高等学校によっては、教科の配点に傾斜をかける場合があります。この例の「特色枠による選抜」では、数学及び理科は配点を3倍にする傾斜配点を実施しており、それぞれ 150 点満点となります。

※2 併設型高等学校における自校作成問題による学力検査の配点は、各高等学校が定めます。

8 調査書の配点

調査書の配点は、第1学年及び第2学年については、学習の記録（評定）がそのまま記載され、第3学年については、学習の記録（評定）を3倍して記載されます。各教科 25 点満点（5＋5＋15）となり、9教科の合計は 225 点満点となります。

高等学校によっては、教科の配点に傾斜をかける場合があります。この例の「特色枠による選抜」では、数学及び理科は得点を3倍にする傾斜配点を実施しており、それぞれ 75 点満点となります。

9 自己表現の配点

自己表現の配点は、検査官一人当たり 15 点満点で、学校があらかじめ定める自己表現の検査官の人数（2～3名）に応じて定められます。この例では、検査官2名で 30 点満点となっています。

10 学校独自検査

学科・コースによっては、特色に応じて実技検査や作文などの学校独自検査を実施する場合があります。

実施内容については、検査時間も記載しています。なお、面接の時間については、目安の時間となります。

この例のように、「特色枠による選抜」にのみ配点が記載されている実施内容についても、原則として全員が受検します。

11 特記事項

学科・コースによっては、学校独自の提出書類やその他の特記事項についての記載があります。